

報 廣  
ま っ だ い

昭和43年9月25日発行  
第125号  
東頸城郡松代町公民館  
館長 富沢清次  
電話 松代6番  
印刷 松代印刷所

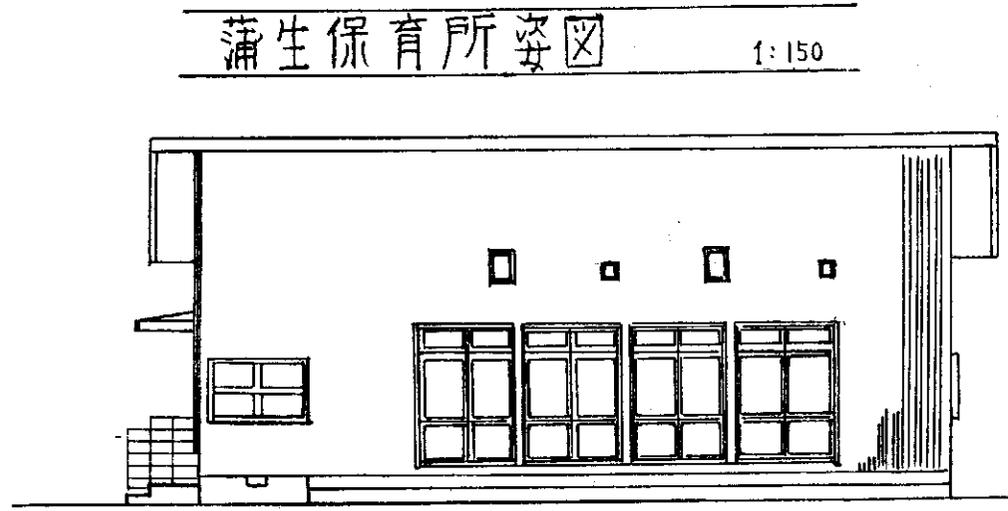
# 蒲生保育所建築工事進む

今後はへき地常設保育所として……

長い間地元の人達の強い要望でもあった蒲生保育所が工事着工し今建築進行中です。

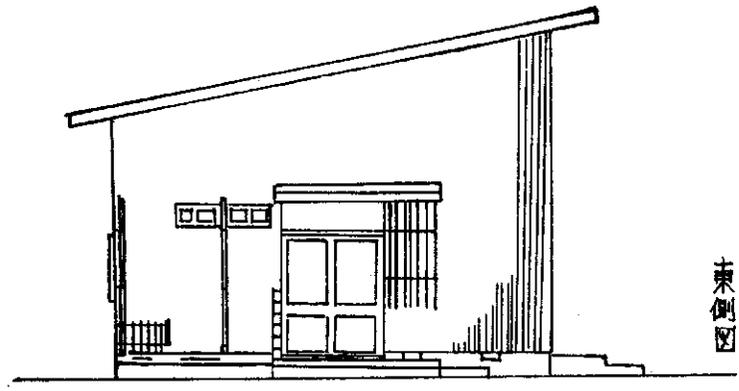
幼児教育の必要性が年々強く叫ばれ、多くの人も考えているところですが、その学習の場としての施設が当然先決問題になりますので、町では本年度蒲生保育所の新築を計画したものです。

北側図



四月初めに入札が行なわれ松代町松代鈴木組(鈴木重寅)に落札し六月二十五日着工したものです。請負額は二二五万円、完了予定は九月三十日になっていまして、農繁期の保育ばかりでなく、通年保育が実現するのは間近かなことでしょう。

東側図



板葺、面積は張間四間、桁行七間九二・七四平方米(二八坪)です。建物の内容は保育室が二部屋、他に管理室、調理室が各一室で、便所、玄関、ローカなどが含まれて居り、小さな子どもが毎日そこに集っても不便を感じない様に設計されています。

就学前の子どもの場合、やゝもすると家庭で教育的な方向付けが出来ず、兎角問題をもつことが多いものです。ことに農村の場合この事が強くうったえられることですが、この施設により、専門の保育さん達から見てもらう様になれば大きく変化していくことは事実です。その意味あいからも保育所の設立は喜びにたえません。

又従来、松代地区、奴奈川地区には設置されていましたが、山平地区には季節保育所のみでしたので、今後常設保育所として、この地区の幼児保育に充分活用されていくことでしょう。

尚保育施設としては、大切な遊戯場が次期計画として設けられること、保育所としては完備することになります。

いずれにせよ大切な幼児教育の場を持った事は喜びにたえないこととであり、ことに人手不足が問題になっている松代町の場合、幼児保育の大切さはわかっていますので、手が廻りかねる現状ですので、この施設がどんなにか待たれたであろう事を考える時、今後の活動に寄せる期待が大であると思われま

蒲生保育所姿図 1:150

# 日頃の意見も活潑に

## 青年、婦人研修会終る

去る八月二十五日、町教育委員会、町連合青年団の主催による、青年幹部研修会が松代町公民館を会場に開催されました。

この日町内青年会各支部、青年学級の代表約五十名が集まり、朝九時より分科会、講演等に終日熱心なる態度で研修会を行ないました。

今年には分科会のテーマも、地域にはたす青年の役割と、この町で実際に求められる青年の研修の場をどこでもつかという主題で活潑な論議が交され、若い世代が地域にはたす役割りと、町づくりへの働きかけに建設的な意見も多く出次代をになうこれ等の人たちの力強さを感じさせました。

又当日の講演は「青年のはたす役割りと自覚」という演題で、県社会教育主事、田中昭平先生より約一時間その豊富な経験からお話しがありました。講師は、約六ヶ月間ヨーロッパ、アメリカ方面で教育行政の視察を終え今春帰国されたもので、外国の青年達の祖国愛などを折まってお話し下さいました。終ってから、フォークダンスで楽しい仲間づくりが行なわれ各地域に帰って一層努力することを胸にちかい合い有意義な一日を過ぎました。

尚町婦人会は三十日、同じく町公民館を会場に午前九時よりシンポジウムに入り「婦人に何をのぞむか」という主題で、町内各種団体代表より活潑な意見発表があり、別の角度から見た婦人の活動を知らうとしたものです。

老人クラブ、一般成人、教育振興会の代表が約五分間づつ意見発表を行ない、尚補足として三分間位、それぞれの考え方をのべました。都合により青年団代表の参加は見られませんでした。聴衆者との質疑応答にうつり、シンポジウム約二時間の討議は、今まで聞かなかった分野を知る事が出来新しい活動に参考になるなど、新しい試みとしては成功でした。

終ってから、田中講師より「婦人活動の問題点とその対策」という演題で講演を願ひ、午後三時に閉会いたしました。

山積される農村婦人問題をいかに解決し、それを村づくりの上の型に表わしたらよいかと真険な姿での終日の研修でした。

地域作りのために兎角、青年や婦人の声忘れられがちですが、実際その地域に住む一員として、しっかりと学習を続けているこれ等の人々を見逃すわけにはいかないうような強い感動を持たせる研修会でした。

これらの人達が地域へ帰り、それぞれの中で更に討議を重ね、積極的な村づくりへの活動から祈ります。

### 祝詞の声荘嚴に

町慰霊祭が挙行せらる

九月六日、松代町遺族会主催の慰霊祭が松代神社において厳肅にとり行なわれました。

この慰霊祭は例年行なわれるものですが、この日町内外の多数来賓を迎え、午前十時半より会場である松代神社に遺族約二百名が集まり、戦没者の霊安かれと祈りを



こめて式典を挙行いたしました。式典は大祓いに初まり、神々に對する祝詞が秋空に響いて、静まりかえった式場に戦没者一人一人の名前が読上げられると、遺族の中には目をとちて冥福を祈る姿も見られました。

つづいて遺族会々長祭詞、各代表の玉串奉奠などが行なわれ、厳肅そのものの中に十二時式典を終りました。

式典終了後、一同簡単な会食を共にし散会しました。

この祭典は毎年遺族会主催のもとに行なわれるのですが、とかく忘れ去られようとしている戦没者の冥福を心から祈るべく企画されているもので、町内のあらゆる部落から遺族の方々が参拝される意義ある祭典です。

**たばこは  
町内で買ひましよう**

代金の一部が町の収入となり皆さんのお役にたちます。一箱でもよほど買われますとよその市や町の収入になつてしまいます。

### 松代町出稼組合総会 開かる

記念講演は

NHK論説委員 松宮克也氏

堅実な方法と、地についた活動で知られている松代町の出稼組合は、去る八月三十一日、出稼組合の総会を役場庁舎第一会議室において開催しました。

各職場の役員は勿論、一般組合員も多数参加し、本年度の行事報告及び今季出稼への対策、正月帰省バス対策などについて審議を重ね午前中真剣な会合がもたれました。終って午後、松代高校体育館に於て、NHK論説委員の松宮克也氏の記念講演が行なわれ、松代高校生を含む聴衆約六百名の前で時局講演がありました。

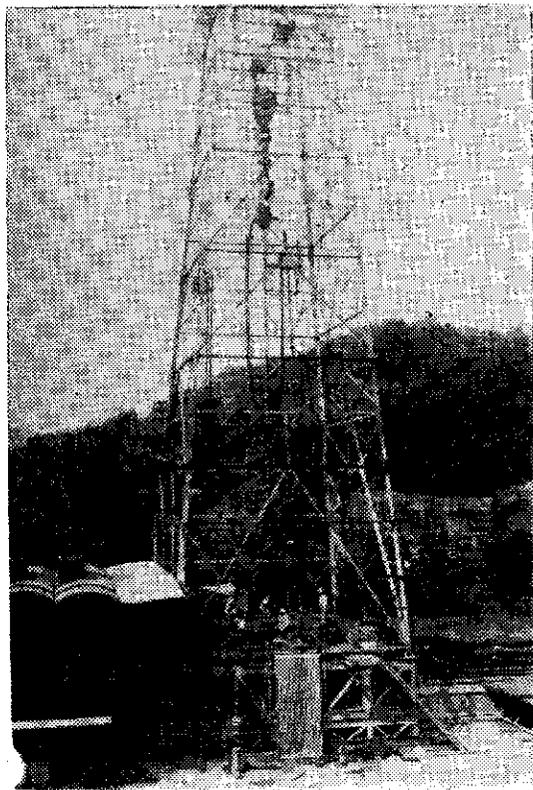
# 地下開発に石油公団が 孟地地区の試掘初まる

犬伏橋を通るとバスの中から、孟地の学校寄りに高い橋が見えますが御存じでしょうか。  
これは石油開発公団が今春具体的な話しを進め、地下資源の開発に取組み出した石油試掘井戸の橋です。

場所は孟地地区で学校のすぐ下の田園でしたが、すっかり地盤作りも終り

九月十一日開抗式を行ないました。

この試掘井戸は中子構造と言われ、点々と試掘を行なうものでなく、一箇所を掘り、成功



したら地下の本井戸から横に掘り進むという蛸の足の様な方式だそうです。本井戸は現在の予定では深さ三千三百米を掘ることになっているようですが、これには従来の機械では駄目で、日本にも数台しかないといわれる最新型のもを使用しております。  
尚工期は五十日間の予定ですが町内では過去数回にわたり各地で試掘が行なわれ、いずれも失敗していますので、この井戸にかける期待は大きいものがあります。

影を受けたものです。

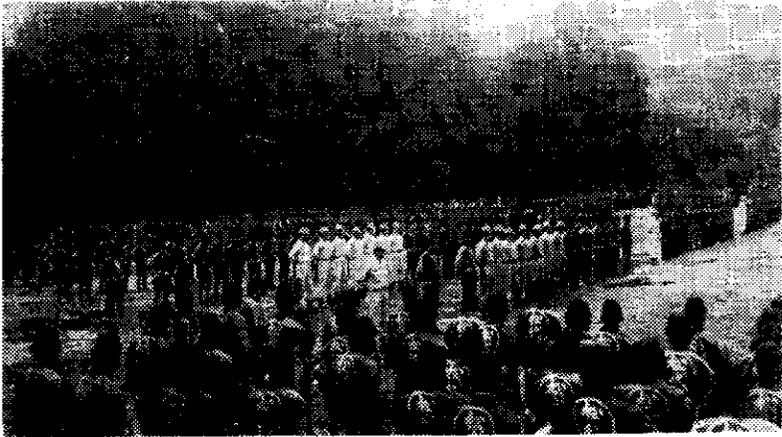
## 町消防団連合演習終る

…表彰旗樹立式をかねて…

去る八月二十二日、上越支庁長県消防本部副部長を迎え、松代町消防団表彰旗樹立式並に連合演習が華ばなしく行なわれました。

午前九時、雨上りの松代高校グラウンドに於て町内約五百名の消防団員が整列の中に、前記来賓の他町内外多数の来賓が出席され、その功績により県消防本部よりおこなれた表彰旗の樹立式が緊張の中に進行しました。終って同グラウンドにおいて総合訓練の検閲が行なわれ、日頃の訓練ぶりをいかんなく発揮し、力強さを示しました。午後ラッパ隊を先頭に足音も高く街頭行進に移り、仮設火災実戦消火活動を開始、終日消防団健全の姿を町民の前に披露しました。

尚表彰旗は本年二月新潟において行なわれ、本町がその晴れの表



# 初秋の空に白球飛び交う

町長杯争奪野球大会終る

去る八月三十一日、九月一日の両日にわたり、恒例の町野球協会主催、町長杯争奪秋季野球大会が松代高校、松代中学両グラウンドで華ばなしく挙行されました。

この日集った九チームは、それぞれ参加十八チームより予選を通過したもので、アザミヒライズ、松代病院チーム、松代ポストマンクラブ、松代農協チーム、伊沢ワグナーライン、高校職員チーム、役場体育部B、室野フレッツユニエース、役場体育部Aの精鋭が初秋の空の下、白球に全力をかたむけて熱戦を展開いたしました。当日の成績は次の通りです。

- 優勝 役場体育部A
- 準優勝 松代ポストマンクラブ
- 三位 伊沢ワグナーライン
- 松代高校職員チーム

### 個人賞

- 最高殊勳選手賞 柳力 (役場体育部A)
- 首位打者賞 宮沢淳一 (役場体育部A)
- 敢闘賞 中村守 (松代高校)
- 敢闘賞 福島武夫 (ポストマンクラブ)

尚この大会の過去における優勝チームは次の通りです。

## ◀町長杯争奪野球大会優勝記録▶

回数	年度	優勝チーム
1	昭和32	浦生野球クラブ
2	33	松代青年会チーム
3	34	松代青年会チーム
4	35	松代青年会チーム
5	36	松代病院チーム
6	37	松代青年会チーム
7	38	松代青年会チーム
8	39	松代病院チーム (雨で決勝不可)
9	39	松代青年会チーム
10	40	松代ポストマンクラブ
11	41	松代ポストマンクラブ
12	42	松代ポストマンクラブ
13	42	松代ポストマンクラブ
14	43	松代役場体育部(A)
15	43	松代役場体育部

# さあ！ こそつて 交通災害共済に加入しよう

交通戦争といわれる現状の中に松代町でも例外ではなく、時々事故が見られるようです。このような状況から、不幸にして交通事故を受けられた方々をみんなで救済するために、県では交通災害共済組合をつくり見舞金を加入者にすぐお渡しする様に計画いたしました。

万一に備えて町民の方々の加入をおまちいたしております。詳しい事は先にチラシを皆さんのお手元へお届けしてありますが、大人子供の別なく多数の方々の加入をおすすめします。ことに

- 。交通ひんばんの地区及び沿道部落
- 。自転車に乗る方
- 。出稼する方（出稼先で事故がおきると大変です）
- 。中学生以下の方（幼児もふくむ）
- 。運転免許を持っている人

加入はいつでも出来ますので、気軽に町役場総務課へお申込み下さい。現在の加入状況は別表の通りですが中学生以下の子どもさんの加入が少なくなっています。危険度が多い年令ですので加入された方がよいと思います。尚申込みの際、会費（加入費）は別表の通りですのでよくお読み下さい。申込み書は役場にありしますので、会費だけお持ち下されればいつでも加入できます。

交通災害共済加入申込状況

字 名	中学生以下		合 計
	一 般	中 学 生	
代戸平刈	309	173	482
荒 屋	35	17	52
小太菅	29	10	39
田小池	23	2	25
下千池	10	5	15
会清	35	2	37
桐蓬	44	4	48
東海	32	2	34
犬孟	75	48	123
片滝	36	11	47
滝中	24	7	31
芋田	40	7	47
仙田	20	7	27
あ小	95	36	131
謙寺	11	—	11
名小	31	4	35
浦儀	17	3	20
福奈	11	1	12
室竹	19	5	24
良 濁	15	—	15
嶋原	12	—	14
野	19	2	22
ざみ	49	14	63
訪	28	1	29
平貫	41	8	49
嶋田	18	7	25
平池	24	4	28
生明	1	—	1
島立	43	5	48
野所	14	2	16
良 濁	148	36	184
嶋原	93	37	130
木和	50	13	63
田原	19	9	28
計	130	46	176
	38	11	49
	19	5	24
	28	8	36
	18	8	26
	1,703	563	2,266
			21.46%

## バス通学の松代高校生に感謝



私は毎日、朝晩バスで松代と松之山間を通勤いたしております。その中で日頃感じている事を書き感謝の気持ちを皆さんにお伝えしたいと思います。

毎日のバスは通勤と通学でござつたがえしてあります。一日が終つて勤めから帰る者にとってバスの中は余計疲れを感じさせられます。こんな中で何時も感ずる事ですが必ずといって良い程、通学の松代高校の生徒さんが席を譲って下さいます。誰言うともなく、ただ私だけではなく、乗客の皆さんに立って席を譲る姿はたゞ感謝にたえません。「有難う」と言つて腰を下ろすのですが、毎日の事になると

お礼も言わない私たちにも、それがごく自然の様に「どうぞ」と立上がる高校生のマナーの良さにいつも心の中で感謝をいたしております。

とかく若い人達の行動が批判されがちですが、これらの人達が大人になる日を私は心から待ち望んでいます。この土地から忘れ去られようとしているこんな行動こそ大切なものだと思つてお祈りいたします。日頃から、これ等の行動や考え方を身につけておられる生徒さん方に深い敬意と感謝の念を込めつつ、今後の生徒さんの御自愛と益々尊いものを身につけられることを祈り、これを書いた次第です。

■ 会員が交通事故による災害を受けた場合に支給される共済見舞金は次のとおりです。

等級	傷 害 の 程 度	金額
1 等 級	死亡した場合	50万円
2 等 級	全治6ヵ月以上の傷害を受けた場合	10万円
3 等 級	全治3ヵ月以上の傷害を受けた場合	5万円
4 等 級	全治1ヵ月以上の傷害を受けた場合	2万円
5 等 級	全治1週間以上の傷害を受けた場合	5千円

■ 加入月別の会費は次のとおりです。但し月の末日に加入される場合は翌月欄の会費となります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大人	360円	330	300	270	240	210	180	150	120	90	60	30
小人	300円	275	250	225	200	175	150	125	100	75	50	25

## (灯) 原稿募集

「広報まつだい」ではこの紙面を皆様との心の結びつきにしたいと考えています。是非紹介したい事、隠れた善意をお寄せ下さい。

一、心温まるお話

二、紹介したい出来事  
 など、とかく殺風景な話の多い世の中で、町内に心温まるお話を聞くことは大切な事になってきました。皆様の周囲の方で、こんな人が、こんな事を……とお書き下さって、松代町公民館「広報まつだい」係宛にお送り下さい。そして多くの人達から尊い灯をとぼしていただける様御協力をお願い申し上げます。